

# 町が設置する券売機について

町長 新紙幣への対応は、現在の券売機の老朽化を考慮し検討する



佐藤 幸一 議員

## 問

洪沢栄一ゆかりのまちとしてまちづくりの中心に捉えて事業を展開してきた。

役場庁舎には新紙幣発行の懸垂幕を設置して祝福しているが、町営施設で券売機が設置されている公衆浴場、さわやかプラザの券売機で新紙幣が使用できない。

2点について伺う。  
 (1) 数年前から新紙幣が発行されることが分かっているながら、券売機の改修や入れ替えの対応を行わなかった理由は。  
 (2) 新紙幣はいつから使用できるようになるのか。

## 町長

(1) 現在

公衆浴場とさわやかプラザに設置している券売機は、千円札と硬貨の対応で、もともと5千円札・1万円札は使用できなく、新紙幣にも対応していない。受付にて適宜両替対応している。

券売機の購入には1台270万円以上の費用がかかる。両替希望も少ないことから、券売機の更新は見送ったところである。

(2) 新紙幣への対応時期は、現在の券売機の老朽化を考慮し検討する。



さわやかプラザの券売機

# 空き家の利活用について



中河 つる子 議員

## 町長 効果的な空き店舗活用について 検討していく

**問** 清水、御影の市街地には、現在、使

われていない店舗や空き家が数多くあり、長年にわたり放置されている家は老朽化も進んでいる。

これらの空き家、空き店舗を地域の住民のニーズに合った利活用はできないものか考えを伺う。  
(1) 空き家情報を町はどれだけ把握しているか。またその情報をどのように活用しているか。  
(2) 空き店舗の活用について、住民の声を活かした、誰でもが利用できる「憩いの場」として活用してはどうか伺う。

**町長** (1) 清水・御影市街地

に所在する空き家は、令和2年現在、清水市街地で100戸、御影市街地で25戸を確認している。

本町では令和3年10月に清水町空き家等対策計画を策定し、空き家の有効活用及び予防と適正管理を推進している。また、空き地、空き家バンク事業を実施し、町内に存在する不動産を町のホームページ上に掲載し、所有者と利用を希望する方との情報交換を支援している。  
(2) 第6期総合計画で、商店街の目指すべき基本



御影本通

的な方向として、各種イベントや商店街の空き店舗解消を推進し、まちなかにぎわいを創出するということが掲げられている。

空き店舗を憩いの場として活用するには、所有者の意思、経費負担等いくつか乗り越えなければならぬ課題はあるが、それらが解決できるのであれば可能であると思う。  
今後において、より効果的な空き店舗活用事業について、様々な視点から検討していきたいと考える。

**福祉施設、医療機関に働く人が、  
コロナワクチンを受けやすく  
するため、事業所に支援を**

**町長** 町から事業所へ経費支援を行うことは難しい

**問** 新型コロナウイルス感染症の5類移行に

ともない、ワクチン接種も有料になった。5類移行後も感染はなくなったわけではない、8月に入り感染者が増えてきているとの報道もある。そこで、福祉施設や医療機関で働く人が感染しないように、高額なワクチン接種を受けやすくなるよう、事業所に支援をしてはどうか伺う。

**町長** 新型コロナウイルス感染症は、

5類に位置付けられ、ワクチン接種は、令和6年度からは65歳以上の高齢者と一定の基礎疾患のある60才から64歳までの方が定期接種になった。コロナワクチンの任意接種費用は高額だが、町から事業所へ経費支援を行うことは難しい。

